



# JAあそだより



## ■主な内容

- 祈願祭・仕事始め式
- 熊本県家の光大会
- 阿蘇地方野菜振興大会
- 阿蘇町農機車輛センター訪問



## JA 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5  
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088



組合員の負託に全職員が  
気を引き締め頑張ろう！

## 平成17年祈願祭 仕事始め式

年頭恒例の「祈願祭および仕事始め式」が1月6日午前8時半から、丸山信義組合長や支所担当理事をはじめ役員120人が参加して一の宮中央支所で行われました。神事が厳かに執り行われた後、丸山組合長が「昨年は相次ぐ台風襲来で農作物や農業施設等に大きな被害を受けた。今年も農業を取り巻く環境は一段と厳しいが、組合員の皆さんの負託に応えるため職員一人一人が気を引き締め、新たな気持ちで一生懸命頑張ろう」と新年にかける決意を述べ、部門ごとの課題と取組事項に役員が一体となって取り組むように訓示しました。



「より一層の信頼確立を」  
コンプライアンス研修会開く

J A阿蘇ではコンプライアンス（法令遵守）態勢の一層の確立に向けて、臨時職員も含む全職員を対象に昨年11月26日から12月9日にかけて7回にわたって研修会を開催しました。

このコンプライアンス研修会は、業務を遂行していく上で遵守しなければならぬ規範やモラルについての正しい取り組み方や実践。また、法令違反や社会的規範に反する行為が発見された場合の問題等の正しい対処方などを今一度学び、組合員や利用者の信頼を得て、J Aの健全経営を確保することを目的としたものです。



改善策に真剣に取り組む職員

人事労務管理検討  
プロジェクトを設置

J A阿蘇では昨年12月10日、人事管理における問題点の把握や改善策の検討を行い、新たな人事制度の構築により職員一人ひとりの意欲と能力の向上を目指し、組合員の満足度向上に寄与することを目的としたプロジェクトを設置しました。組合長より委託を受けた職員20人が参加し、各調査に関する分析、問題点に対する課題整理等を平成19年まで協議することになっています。

# 「老後のライフプラン」

あなたは大丈夫ですか？  
女性部久木野支部研修会開く

J A阿蘇女性部久木野支部（栃原清子支部長）では、昨年12月10日午後2時から家の光協会九州普及局主査の熊田陽介氏を招き、久木野中央支所会議室で「ライフプラン研修会」を開催、部員ら10人が参加しました。

熊田講師は「いきいきライフプランのすすめ」というテーマに沿って、「①ライフプランってなに？②いま、なぜライフプランが注目される？③出費の三大要素④老後の時間と必要経費について⑤今日から実践に向けて」という項目ごとに話しを進め、今の自分を見つめ、これか



らの未来図（ライフプラン）を描く上で大切な考え方、要素を「こころ」（豊かなこころで生きること）、「体」（いつも健康であること）、「お金」（豊かな生活基盤をつくること）の必要性を説きました。そしてライフプランの効果として、

- ◇家族と話し合いができる。
- ◇将来の準備ができる。
- ◇環境の変化にすばやく適応できる。
- ◇必要な情報をタイミングよくキャッチできる。
- ◇優先準備を考えることができる。



◇バランスのとれた人生が送れる。

◇目標ができ、今日をたいせつに生きられるようになる。

など日々の暮らしにゆとりと効果が生まれけると結論付けました。

さらに、子育てが終わりようやく自分自身のライフスタイルが見え、落ち着いた暮らしが始められる60歳代に向け、安心してセカンドライフが楽しめるように「人づくり」「時づくり」「お金づくり」の3つの財産を築かなければならないと述べました。

## 味も彩りも一味違う

### 正月料理に挑戦！

研修後の午後5時からは、生活研究グループも加わり、総勢30人で正月料理講習会が行われました。講師に迎えたエークツクの中川瑞恵さんのテキパキした指導で、15種余りの正月料理ができあがりました。（※料理作りの様子は本誌12ページにも紹介しています）

|| J A阿蘇女性部役員会 ||  
ライフプラン実施に向け  
研修と意見交換行う

1月17日、一の宮中央支所でJ A阿蘇女性部役員会が開かれ各支部長および事務局の22人が出席しました。当日は家の光協会の鈴木氏を講師に「ライフプラン実現に向けて」の講演が行われた後、女性部としてライフプランにどのように取り組んでいくのか意見が交換されました。また、具体的に「生きがい・健康づくり・家庭経済・家族関係・仕事・地域社会活動」などが自己分析できる「ライフプラン」や「家計簿」「環境にやさしい節約術」などの練習シートを試みながら、自己分析のチェック等を行いました。

ライフプラン勉強会開催の要望が各支部からあれば、各支部でも対応の予定です。



# J A阿蘇 家の光特別普及で表彰受ける

## 第52回県家の光大会

「文化と協同の力で元氣なJ A・地域づくりをすすめよう」を大会スローガンに、第52回県家の光大会が1月13日、熊本市産業文化会館で開かれました。大会には家の光愛読者を主に約70

0人が参加、J A阿蘇からも約50人が出席しました。大会では主催者挨拶、来賓祝辞が述べられた後、表彰式に移り先ずJ A阿蘇が「家の光特別普及J A」（教育文化活動の重要性を認識し、愛読

者やJ A関係者・ならびに関係組織が一体となって家の光の普及活動に多大な貢献を行った）として、J A熊本中央会の園田俊宏会長から丸山信義組合長に表彰状が贈られました。引き続き「ちゃくりん読書感想文」の優良賞に選ばれたJ A阿蘇管内の田上陽香里さん（白水小学校3年）と光永彩乃さん（久木野小学校3年）ら6人による作文発表があり、それぞれに表彰状が贈られました。その後、県内J A代表による記事活用体験・普及文化活動の

体験発表、アトラクション（マリンバ演奏）などが行われました。※「ちゃくりん読書感想文」優良賞の光永彩乃さんの作品は本誌6ページに掲載しました。また田上陽香里さんの作品は「J Aあそだより」前号（新年号・18号）にて掲載しておりますので、前号をご覧ください。



表彰を受けた丸山組合長はじめ関係者の皆さん



開会式の様子



表彰を受ける丸山組合長（右）



感想文で優良賞を受賞した子供たち



# 平成16年度 阿蘇地方野菜振興大会 野菜園芸功労者9氏を表彰

野菜園芸功労者の方々（敬称略）

岩下 岩男（一の宮）元JA阿蘇一の宮園芸部会長  
江藤 勝喜（阿蘇）元JA黒川園芸部会支部長  
今永 一字（小国）小国郷生しいたけ部会長  
高橋 良嗣（産山）JA阿蘇ホウレンソウ部会長

市原 学（波野）波野キャベツ部会監査  
田上 善二郎（蘇陽）蘇陽園芸部会長  
勝木 忠男（高森）高森加工大根部会長  
桐原 浜幸（白水）白水ミニトマト部会長  
秋吉 司（西原）西原甘藷部会長

## 平成16年度 阿蘇地方野菜振興大会



前列左から秋吉さん、江藤さん、藤本大会会長、勝木さん、市原さん。後列左から岩下さん、田上さん、高橋さん。（今永さんと桐原さんは当日ご欠席により写ってはおられません）

野菜生産者の熱力を結集して  
共謀部ハの境内を



開会式の様子

3年に1度開かれる阿蘇地方野菜振興大会（主催＝県野菜振興協会阿蘇支部、後援＝JA阿蘇ほか）が1月27日、高森町林



パネル・ディスカッションの様子

業総合センターで行われ、生産者をはじめ、JA・行政・市場関係者ら約200人が出席しました。

大会は振興協会阿蘇支部副支部長である丸山信義組合長の開会の辞で始まりました。藤本正一（高森町長）大会会長挨拶の後、阿蘇地方の野菜園芸の発展に尽力し大きな功績をあげた上記9人の方々の功労者表彰が行われ、表彰状と記念品が贈られました。そして受賞者を代表し勝木さんが謝辞を述べました。

来賓祝辞の後、今大会が初の試みというパネル・ディスカッ

ションが行われました。阿蘇農業改良普及センターの宮川清喜所長をコーディネーターに「元気な阿蘇の農業づくり」をテーマに宮崎徳雄さん（小国）、井富幸さん（産山）、森田勝さん（高森）、篠原啓介さん（一の宮）の4人がパネリストとなって営農や地域づくりにかける熱のこもった意見を述べました。

このパネリスト4人の発言要旨は7ページに掲載されました。また当日採択された「大会スロークーガン」及び「大会宣言」は、紙面の都合により14ページに掲載しています。



会場の皆さん

野良犬「ゲン」を読んで  
久木野小学校3年  
光永 彩乃



わたしは、ゲンはとてもかわいそうだなと思えました。くびわで首をしめつけられたり、かいぬしにすてられたりしたからです。でも、なんで犬をすてるのかなとわたしは思います。わたしは、そんなことをぜったいにしきないです。でも、池川さんはとてもやさしくて、しんせつな人なんだなあと思いました。けがをしている犬が目のまえにいても、しらんぷりする人もいるのに。わたしだったら、家につれてきて、なにかたべものをあげると思います。毎日、えさをやるなんてとてもすごいと思えました。

わたしが犬だったら、すてられたりしたら、もう人間なんてきらいだと思って、しんようできないと思います。えさをだされても、ぜったいにたべないと思いま

す。ほけんじよに、つかまえてたすけてやっってくださいなんて、わたしはそこまですけないと思います。自分がびょういんでしゅじゅつをしていたのに、びょういんにいるときも、そのことをかんがえているなんて、それほどゲンのことをたいせつなんだなあと思いました。そんなゲンのことを大切と思っている池川さんの心がつうじて、本当によかったなと思えました。

せかいじゅうの人が、こんな池川さんのような人だったら、いいのになと思えました。どうぶつびょういんでちりょうをしてもらって、本当によかったなと思います。

ほかのかいぬしにもらわれて、池川さんはとてもかなしかったんだと思います。わたしが犬なら池川さんみたいな人が、かいぬしがいいです。ゲンも池川さんにたすけられて、とてもしあわせだったと思います。ゲンが元気になってくれて、こんなやさしい人じゃなくても、この本をよめばやさしくなると思います。わたしも小さな体だけど、かけがえのない命なんだなと思えました。

※光永彩乃さんは昨秋、宇土東小学校に転校されました。



お知らせ

昨年「ちやぐりん読書感想文」には、全国から1411編の作文が寄せられました。阿蘇郡の小学校からは90編が応募されました。それらの作品の中から、優良賞50編が選ばれ、熊本県からは6編が入賞し、うち2編が阿蘇の光永彩乃さんと、田上陽香里さんの感想文でした。

今年も小学生の皆さんの多くの応募を期待しています。「ちやぐりん読書感想文」のお問い合わせは、JA阿蘇各支所へどうぞ。



感想文を発表する光永彩乃さん

料理コンテストや  
新たな商品化にも取り組む

宮崎 徳雄さん

昭和47年、小国郷の大根部会発足時には会員が1000人を超えていたが、現在は37人という状況だ。昨年は長雨と台風で大変辛い思いをしたが、皆が一丸なって頑張っている。

部会活動としてはJA阿蘇のコンサルタントを招いた勉強会をはじめ、昨年は部会の中に女性部をつくり、温泉旅館の女将さんなどを招待し、大根料理コンテストなどを開いた。特にこの催しで大根を使った一品料理へのPRができたと思う。

さらに後継者の育成に少しでもつなげればと、子供たちを対象に大根の栽培方法などを教える活動も行っている。また「まると一本」というネーミングで小国大根の新たな商品化も行い、リピートが増えたと市場からも消費者からも好評を頂いている。

課題は後継者の育成である。そして生活の安定はもとより農業の安定が大切であると思う。今後とも地域社会を守るために、もみんなで頑張っていきたい。

日頃から夫婦揃っての  
市場見学会や勉強会を行う

井 富幸さん

産山では昭和50年代からチンゲンサイ栽培が始まったが、昭和62年、13人で産山チンゲンサイ部会をつくった。部会員は年齢が25歳から60歳と幅広いが気持ち一つにして頑張っている。

現在、チンゲンサイは9市場に出荷しているが、一番怖いのが消費者からのクレームである。クレームをなくすためには生産者を認知してもらうことが大事だと思いい、チンゲンサイを入れる袋にレシビを書いたり、ダンボールにも各生産者の名前を入れたりして万が一、クレームが寄せられても処理できるように取り組んでいる。

「ワン・フォー・オール、オール・フォー・ワン」を部会のスローガンに、夫婦揃っての市場見学会や勉強会、情報交換会などの活動を日頃から行っている。昨年は積雪や台風などで被害を受けたが、耐候性ハウスの導入などで最小限の被害でくい止めた。また防虫ネットで農薬散布を少なくするなどの取り組みもしている。

「ヒゴムラサキ」を  
さらにPRしてほしい

森田 勝さん

私は就農して34、35年を迎えるが、この間を振り返ると物価も生産資材なども値上がりしたと思う。昨年より改良普及センターのすすめで県農業研究センターが開発した新種のナス「ヒゴムラサキ」を、生産部会30人の仲間と栽培をしている。初めはナスの栽培を簡単だろうと思っていたが、なかなか奥が深く思うように収量が上がらない。

昨年は相次ぐ台風により、1本300円という高い値段が付き困惑したこともあったが、路地栽培のナスは目を当てられないような大きな被害を受けた。ナスは被覆をすれば回復が早い。ハウスの方はどうか最小限の被害で済んだが、耐候性ハウスでの栽培は連作障害が起きてもハウスを簡単に移動できないという難点がある。県や関係機関にお願したいことは「ヒゴムラサキ」をさらにPRして頂きたいことだ。また、市場関係者には市場での品質基準が明確に分かるような助言をお願いしたいと思っている。

サラリーマンを辞め  
現在、トマト栽培に挑戦中

篠原 啓介さん

私は山口の出身でサラリーマン家庭に育ち、大学(工学部)卒業後テイジンに就職した。入社5年目、偶然見たテレビ番組に自分の姿が重なり「このままでいいのか」という思いが今日の就農へと結びついた。現在、一の宮でトマトを栽培している。

最初は「どうすれば農業ができるのか」とタウンページで調べ、熊本県農業委員会に相談した。そこで農業研修があることを知り、長陽の木之内農園を訪ねた。初めは会社勤めしながら休日は松山から船を乗り継ぎ、長陽まで農作業体験に通った。その後、正式に会社を辞め木之内農園でイチゴを中心に2年半の研修をした。研修当時、ハウスに猿が入って収穫前のイチゴが食われたり、昨年は台風でハウスが倒壊したりと苦労は絶えない。しかし最近では周りの農家の協力もあり、消防団にも参加し地域に溶け込むことができつつある。家庭教師で収入を補いながら早く1人前になりたいと頑張っている。

## 「JA支所訪問」(第15回)

JA阿蘇の各施設や支所の事業内容、話題を紹介する「JA支所訪問」。今回は「阿蘇町農機車輛センター」です。

所長 荒木 秀孝

〒869-2225

阿蘇町黒川千丁無田807-735

TEL0967(32)2816

FAX0967(32)3701



職員の方々

### 最新設備と優秀な技術陣

阿蘇町農機車輛センターは阿蘇町のほぼ中央部、国道212号と県道175号とを結ぶ農免道路から入った所にあります。同敷地内にはJA阿蘇の拠点施設である「グリーンショップやまびこ」や「阿蘇町共同集出荷所」があります。

センターの建物は、事務所を中心に車輛及び農機整備工場が左右に分けられ、効率と利便性がかれる造りとなっており、車輛であれば1度に7台、農機であれば7台の点検修理に対応できる最新の設備とラインが備えられています。

職員は荒木所長以下17人。うち6人が2級自動車整備士、6人が農機技術1級の資格を有し、



センターの外観

また全員が営業もできることが大きな強みとなっています。

昨年は年間、車輛では車検を約920台、農機では約210台の点検・整備を行いました。特に台風被害によるコンバイン等のトラブルが多かったそうです。

### ■ 万全のサービス態勢

阿蘇町農機車輛センターでは、農閑期に農機の点検整備を呼びかけ、また田植えや稲刈りの農繁期には出張修理が多くなるため、万全の態勢で臨むようにしています。特に1日も生活に欠かせない自動車の車検については、朝点検に出したら夕方方には仕上げる「1日車検」を実施しています。そのためには「残業をしても組合員の方へ迷惑を



整備は常にバッチリです

かけない」というスローガンの下、頑張っています。

今年1月から自動車リサイクル法が施行され、新車購入時や最初の車検時に所有者はリサイクル料金を預託しなければならなくなりましたが、荒木所長はリサイクル法趣旨の徹底など行いながら、「JAで販売している農機、例えば刈り払い機から大型機械まで万が一のことを考え傷害保険がかけてあります。また農機においては、安全基準が達成されている製品の購入をすすめています。今後ともJAでの整備や修理は万全で安心できるとい組合員の信頼を大切にしていきたい。また車や農機の購入にしてもJAの低金利ローンのメリットが大きいことなどもっとPRしていきたいです」と話していました。



車検も万全です！



# 窓口対応コンクール県大会

安藤文江さん(野尻支所)と野尻英夫さん(本所)出場

JAバンク熊本が主催する第2回窓口ロールプレイング大会(窓口対応コンクール)が1月22日、県下JAから代表11チーム22人が参加して宇城市のウイング松橋で開催されました。

この大会は、お客様に選ばれ信頼される地域ナンバー1の窓口を目指し「窓口指導強化による収益性の向上」の一環として、窓口職員のレベルアップの取り組みを行った成果発表と、窓口担当者としての自覚の再認識、意識改革などを図ることを主旨として行われるものです。

JA阿蘇からは、昨年11月の阿蘇地区大会で優秀賞に輝いた



野尻さん(左)と安藤さん

安藤文江さん(野尻支所)と野尻英夫さん(本所)が出演。安藤さんがテラー(窓口)役、野尻さんがお客様役になってあらかじめ与えられた設例にしたがって、第1番目に競技(演技)

を行いました。2人は、時には阿蘇弁を交えながら落ち着いた話しぶりで競技を進行させました。しかし各チームとも迫真の競技を行い、残念ながら阿蘇チームは計3名の優秀者には選ばれませんが、2人には大きな拍手が寄せられました。



各JA窓口リーダーの皆さん

## JA阿蘇きらり

「理想の男性は…、  
思いやりがある人」

一の宮中央支所金融共済係

甲斐 千春さん

昭和56年8月生まれ

住所=阿蘇市一の宮町



甲斐さんは、JA阿蘇一の宮管理課、JA阿蘇総務部を経て現在、一の宮中央支所金融共済係として窓口業務を担当しています。「まだお客様全員のお名前と顔を完全に覚えていませんので、間違いがないように気を付けています」

「自分自身の性格は…」との質問に「のんびり屋さんです」と笑って応えていましたが、上司によれば「千春ちゃんは支所の中堅職員として、大変ながんばり屋さんです」という評価です。特に、JA合併時や昨年5月のJA新オンラインシステム移行にともなう煩雑な事務処理を、テキパキとこなしてきたそうです。彼女が持つワープロ検

定1級という実力が発揮されたわけです。しかし、甲斐さんはいたって謙虚な感じですよ。

「昨年は台風などにより大きな被害が出たので、その処理の仕事に追われました。今年は本当に平穏な1年になってほしいです」とにっこり。

家族は両親と妹と、そして犬の5人(4人+1匹)。趣味は映画(ビデオ)や読書。最近見たビデオは「シュレック2」、読んだ本はダニエル・ステイール(アメリカの女流作家)の作品という甲斐さん。「理想の男性は…」という最後の質問に、しばらく考えながら「思いやりがある人でしょうか…」と答えました。

# 花と緑と春を求め

## 愛好者で賑わう

Ⅱ J A 植木まつりⅡ

J A 阿蘇をはじめ県下 11 J A などが出品する「第30回 J A 植木まつり」(主催・J A 熊本経済連)が、県農業公園カントリーパークで1月22日から2月21日まで開催されました。

この植木まつりでは庭木・花・鉢物・盆栽・観葉植物・果樹苗など約120万が展示販売され、さらに豪華な純和風・洋風のモデル庭園なども設けられ訪れる人々の目を楽しませていました。また各 J A の農産品や農産加工品販売コーナーもあり、J A 阿蘇関係では飯頭やだご汁コーナーが展示され、各農具や刃物、園芸資材コーナーなどにも多くの客足が集まっています。

植木まつり期間中、「くまもとのお米キャンペーン」や「チャリティーオークション」、「スパー竹とんぼ講習会」などのイベントも行われました。



「郷の四季」歳末大売り出し  
餅つき大会に  
お客さんも飛び入り

J A 阿蘇の直販店、菊池郡合志町にある「郷の四季」の歳末大売り出しで12月29日、餅つき大会が行われました。餅つきには正月用の野菜や花、農・畜産物、締め縄、お飾りなどを買い物にやっつけてきたお客さんが飛び入りで参加する1コマも見られました。



# 大晦日のおせち料理作り

女性部阿蘇町支部今町地区 猪島 そよ子

平成16年12月31日、阿蘇町支部女性部今町地区部員13名でおせち料理作りをしました。料理講習会で習った料理をみんなで作ってみようという提案で始まったこの活動も今回で5回目となり、手際もぐんとよくなりました。一人2～3品を担当して作りますが、料理が重ならないよう当日までに2回（深夜まで？）打ち合わせ会議をし、得意な物、作りたい物をきめます。野菜類はほとんど自家製で、必要な材料は購入しますが出来合いの市販品は使用せず、全て手作りでです。

当日は朝8時過ぎに、前日に作っておいた煮物や、下ごしらえをしておいた材料を持ち寄り公民館に集まりました。調理用具も持参するので、炒めたり、揚げたりと、各自担当した料理を完成させます。出来立てをお互い試食したりして味の評価もします。

2時間ほど経過するとテーブルの上には、料理を入れた大皿がところ狭しと並べられていきます。全員調理が終了したら今度は重箱に盛り付けです。重箱はメインの料理を入れるものと余ったものを入れるもの2組用意します。一品ずつ丁寧に一の重、二の重と見栄えよく詰めていき、次に余った料理を2組目の重箱にも詰めます。メインの重箱の料理を補充できるように多めに作っているわけです。

材料費は各自払った材料代（自家製のものを含みません）を合計して、13軒で等分するので毎年5,000円前後ですみ、各家庭で作るより品数も多く出来て、安価です。

家族にも、お客様にも大評判なのは言うまでもありません。大晦日のお昼過ぎまで公民館に居るので、前日までにお正月の段取りを済ませておかなければならないので大変ですが、そのあとはゆっくり過ごすことが出来ます。それに、みんなで、1年を振り返りながらのおしゃべりも楽しい時間です。

これからも大晦日の恒例としておせち料理作りを続けて行きたいと思います。



盛り付けも大事な作業



試食しながらの楽しい反省会

# JA阿蘇女性部 久木野支所の皆さん



おせち料理  
スナッフ



阿蘇町東部支所管内  
今町女性部の皆さん



## JA阿蘇「きものまつり」

各会場とも豪華な雰囲気

毎年、恒例となっているJA阿蘇の「きものまつり」が、南部（白水中央支所）1月29・30日、中部（ホテルサンクラウン）2月5・6日、北部（小国郷中央支所）2月18・19日の3地区で開催されました。各会場では初日の開会に先立ち、関係者約100人が出席して主催者によるテーブルカットが行われました。会場は一早く春が訪れたような華やかな雰囲気にも包まれ、あでやかな訪問着、振袖、留袖、宮詣りや七五三の晴着セットなどが所狭しと展示され、会場を訪れた人々を魅了していました。



主催者によるテーブルカット（南部会場）

## 第4回臨時総代会開催



第4回JA阿蘇臨時総代会が1月28日、午前10時より一の宮中央支所会議室で開催されました。

臨時総代会は総代数582名のうち本人出席25名、書面議決書528名で成立しました。組合長挨拶後、議長に久木野中央支所総代の今村義己氏を選任。書記指名後、議事に移り、第1号議案「固定資産の取得について」、第2号議案「共済規程の変更について」の審議が行われました。その結果、第1号、第2号議案とも原案通り可決されました。

発言者の中に「合併により蘇陽町が上益城管内となるが、その場合の出荷の取り扱いはどうなるのか」旨の質問がありましたが、「熊本県・県農協中央会・JA上益城とJA阿蘇間で協議の結果、旧蘇陽町はJA阿蘇管内の組合員となる定款の変更を予定していますので、今までと同様」と、工藤総務参事より報告されました。

### 阿蘇地方野菜振興大会『大会スローガン』

- 1 「新鮮・安全・安心」な阿蘇野菜のブランドづくりに努めよう
- 1 野菜生産者の総力を結集して、共販額80億円を達成しよう
- 1 阿蘇の観光、地産地消に対応した流通販売の多様化を推進しよう
- 1 男女共同参画により「ゆとり豊かさ」あふれる野菜産地づくりに努めよう

### 『大会宣言』

私たち生産者は、これまで阿蘇地方の豊かな自然環境と魅力を活かした野菜生産を行うと共に、関係機関と一体となって施設などの導入による生産・安定に努力してきました。

しかしながら、昨年は1月の大雪に始まり、度重なる台風の襲来により、農作物被害をはじめ、ビニール破損、ハウス倒壊など大きな打撃を受けました。さらに、社会・経済の低迷と輸入農産物の増大に伴う販売価格の低下、消費者ニーズの多様化など、野菜経営を取り巻く環境は一段と困難さを増しています。

この現状を突破するためには、それぞれの野菜生産者が自らの経営を徹底的に見直し、省力化とコスト低減に取り組むことを基本に、自然災害に負けない努力を惜しまず、阿蘇の地域資源を活用して「新鮮で、安全・安心なおいしい野菜」の生産を行い、消費者の信頼を得ること、消費者の期待に応えることが重要です。

さらに、阿蘇の観光資源の活用と地産地消に対応した流通販売の多様化に積極的に取り組み、地域との連携を深めることが必要です。私たちは、こうした認識のもと、更に野菜生産者間の団結と協調を深め、野菜生産の振興・発展にまい進することを、ここに宣言します。

平成17年1月27日

平成16年度阿蘇地方野菜振興大会

## 理事会・監事会報告

平成16年12月～平成17年1月に下記の通り理事会及び監事会が開催されましたので、その内容を掲載いたします。

### ■平成16年度第12回理事会

日時 平成16年12月17日午後1時30分  
場所 熊本交通センターホテル

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項  
平成16年11月末実績報告
- (1) 平成16年度上半期監事監査指摘事項について
- (2) 共済規程の変更について
- (3) 共済事業の共同実施に関する契約締結について
- (4) 系統外為業務取扱い廃止について
- (5) 余裕金運用規程の一部改正及び平成16年度余裕金運用方針の変更について
- (6) 資産査定要領の変更について
- (7) 貸出金について
- (8) 畜産近代化リース事業について
- (9) 固定資産の取得について
  - ① 台風災害に係る複合経営促進施設
  - ② 大豆コンバイン
- (10) ハウスリース事業管理運営規定の一部改正について
- (11) 臨時総代会の開催について
- (12) 年末年始休業について
- (13) その他

報告事項 平成16年度導入家畜等棚卸監査の実施について

報告事項 米麦等棚卸監査の実施について

報告事項 国債の運用状況について

報告事項 指定金融機関の状況について

### ■平成16年度第13回理事会

日時 平成17年1月28日臨時総代会終了後  
場所 一の宮中央支所大会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 提出議案  
12月末実績報告
- (1) 平成16年度上半期監事監査回答書(案)について
- (2) 県常例検査回答書(案)について

- (3) 全国監査機構期中監査報告について
- (4) 統合後の為替決済担保の取扱いにかかる変更について
- (5) 農林中央金庫の劣後ローン、後配出資、長期変動金利定期預金の承継について
- (5)1 信連4ヶ年計画について
- (6) 貸出金について
- (7) 南部集出荷貯蔵施設建設に係る外構工事について
- (8) 自己資本充実5ヶ年計画の見直しについて
- (9) 臨時職員就業規則の改正について
- (10) 阿蘇町管内組織整備見直しについて
- (11) ケント牧場債権処理について
- (12) 建設委員会委員の選任について
- (13) その他

報告事項 平成16年度資産査定の実施について

報告事項 農林中央金庫資本増強に係る増資について

### ■平成16年度第7回監事会

日時 平成16年12月3日午前10時  
場所 本所2階会議室

- (1) 平成16年度上期監事監査報告書(案)について
- (2) 平成16年度導入家畜等棚卸監査実施要領(案)について
- (3) 入家畜・預託家畜等の棚卸監査実施について
- (4) 平成16年度米麦等棚卸監査実施要領(案)について
- (5) 米麦等棚卸監査実施について
- (6) その他、今後の行事日程、三共牧場視察

### ■平成16年度第8回監事会

日時 平成17年1月14日午後1時30分  
場所 本所2階会議室

- (1) 平成16年度米麦等棚卸監査実施について
- (2) 平成16年度熊本県検査報告書について
- (3) 平成16年度全国監査機構期中監査報告について
- (4) 平成16年度資産査定実施について

資産査定実施要領

資産査定要領

資産査定事務要領

# くみあい配合飼料をご使用の皆様へ

平成15年9月16日に、BSEを根絶する目的で、農林水産省消費・安全局から牛用飼料に動物由来たん白質を混入させない取り組みの指針（ガイドライン）が通知されました。

現在、JAグループでは、皆様に安心してくみあい飼料をお使いいただけるよう、原料調達から飼料製造および配送にいたるまで、ガイドラインに基づいた体制づくりに取り組んでいます。

牛を飼養される農家の皆様におかれましては、下記の点に留意され、牛用飼料への動物由来たん白質の混入防止に努めていただくようお願い申し上げます。



- 配合飼料では**表示票に記載された対象家畜が「牛」**であることを確認しましょう。
- 単味飼料では伝票や表示票などで、**動物由来たん白質が含まれていない**ことを確認しましょう。
- バラタンクには「牛」などの**畜種名を表示**しましょう。
- **魚粉は牛に給与することが禁止**されています。また、犬などのペットフードが牛用飼料に混入しないようにしましょう。

- 牛用飼料の他に、鶏・豚用飼料も使用されている方は、次の点に注意して下さい。
  - 牛用飼料と鶏・豚用飼料を同時に運ぶ場合は、混入しない工夫（シートで区分するなど）をしましょう。
  - バラタンクは畜種毎に専用化しましょう。また、袋物の置き場も畜種毎に区別して、「牛」「豚」「鶏」など、畜種名を表示し、間違いがないようにしましょう。
  - 給餌車・バケツ・ショベル等の器具については、畜種毎に専用化しましょう。
  - 牛用飼料を給餌する場合は、専用の作業着・長靴等を使用しましょう。それが困難な場合は、作業着のほこりや靴底の汚れを十分に落としてから牛用飼料を給餌しましょう。
  - 牛用飼料に鶏・豚用飼料が混入した場合は、その飼料は牛には与えず廃棄しましょう。鶏・豚用飼料が付着した器具は、水洗い等してから使用しましょう。

## ● 牛用の飼料伝票と飼料の給餌記録は8年間保管しましょう

（ガイドラインを守らなかった場合は、飼料安全法に基づく処罰の対象となります）

- 不明なことがあれば最寄りのJAへ問い合わせましょう。
- 市町村役場などの行政機関から指導があった場合は、これに従いましょう。